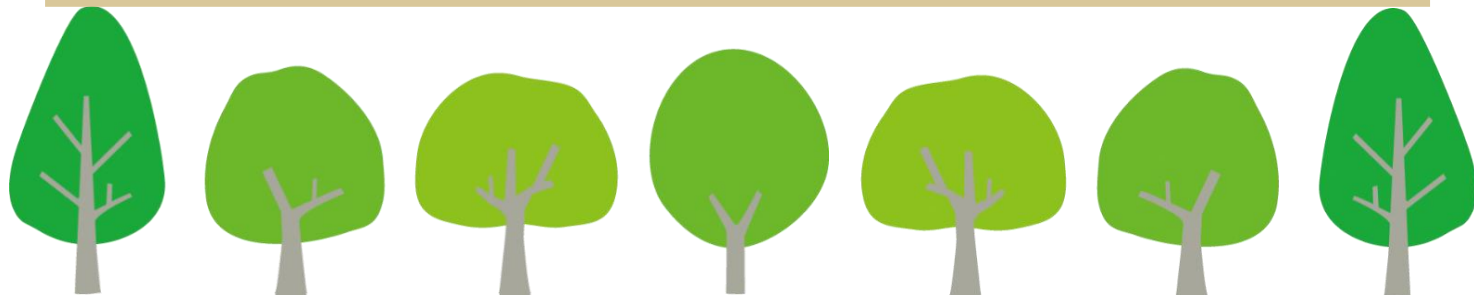


令和5年度(2023年度) 第22回宝塚市子ども議会 会議録



令和5年8月
宝塚市子ども未来部
子ども家庭室子ども政策課

目 次

◇ 第22回宝塚市子ども議会会議録	1
1 開会・開議・閉会	1
2 出席議員	1
3 答弁のため出席した者の職氏名	2
4 議事日程	2
5 一般質問一覧表	3
6 座席表	4
◇ 第22回宝塚市子ども議会	5
開会	5
議長あいさつ	5
市長あいさつ	5
【一般質問】	
雲雀丘学園小学校 小林 友愛議員	6
宝塚小学校 藤原 将之議員	8
長尾小学校 早川 優莉夏議員	9
西谷小学校 角野 愛姫議員	10
西山小学校 堀 花楓議員	12
逆瀬台小学校 渡邊 新良太議員	13
末広小学校 福富 柚奈議員	14
安倉北小学校 小宮路 実子議員	16
すみれが丘小学校 西 来未議員	18
宝梅中学校 森脇 高嶺議員	19
高司中学校 立脇 圭人議員	21
南ひばりが丘中学校 村上 徳真議員	22
中山五月台中学校 上田 遥斗議員	23
宝塚西高等学校 澤田 一陽議員	24
雲雀丘学園高等学校 北川 彩葉議員	26
副議長あいさつ	27
閉会	27
◇ 子ども議員委嘱状	28
◇ 子ども議員アンケート結果	29
◇ 子ども議会広報	32
◇ 子ども議会集合写真	

令和5年度 第22回宝塚市子ども議会会議録

- 1 開 会 令和5年（2023年）8月21日（月） 午後1時30分
 開 議 同 日 午後1時30分
 閉 会 同 日 午後3時30分

2 出席議員（15名）

	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
1	ふじわら まさゆき 藤原 将之	宝塚小学校	9	こばやし ゆめ 小林 友愛	雲雀丘学園小学校
2	はやかわ ゆりな 早川 優莉夏	長尾小学校	10	もりわき たかね 森脇 高嶺	宝梅中学校
3	かどの あき 角野 愛姫	西谷小学校	11	たてわき けいと 立脇 圭人	高司中学校
4	ほり かえで 堀 花楓	西山小学校	12	むらかみ とくま 村上 徳真	南ひばりガ丘中学校
5	わたなべ あらた 渡邊 新良太	逆瀬台小学校	13	うえだ はると 上田 遥斗	中山五月台中学校
6	ふくとみ ゆずな 福富 柚奈	末広小学校	14	さわだ ひとひ 澤田 一陽	宝塚西高等学校
7	こみやじ みこ 小宮路 実子	安倉北小学校	15	きたがわ いろは 北川 彩葉	雲雀丘学園高等学校
8	にし くるみ 西 来未	すみれガ丘小学校			

3 答弁のため出席した者の職氏名

役 職	氏 名
市 長	山崎 晴恵
副市長	井上 輝俊
理事	赤井 稔
理事	藤島 昇
技監	小寺 寿充
企画経営部長	古家 健志
経営改革推進担当部長	吉田 康彦
都市安全部長	池澤 伸夫

役 職	氏 名
都市整備部長	濱田 一二三
健康福祉部長	藤本 宜則
子ども未来部長	西垣 早百合
新ごみ処理施設整備担当参事	影山 修司
産業文化部長	岡本 直也
教育長	五十嵐 孝
管理部長	高田 輝夫
学校教育部長	坂本 三好

※出席していただいた市議会議員

宝塚市議会議員 富川 晃太郎

宝塚市議会副議長 梶川 みさお

4 議事日程

宝塚市子ども議会議事日程

令和5年(2023年) 8月21日(月曜日) 午後1時30分開議

日程	議案番号	件 名	内 容	
1		一般質問	一般質問一覧表のとおり	

5 一般質問一覧表

順番	学校名	学年	氏名	発表テーマ (発表内容予定)
安倉北小学校 小宮路 実子 議長 が議事進行				
1	雲雀丘学園小学校	6年	小林 友愛 ○	カラスとの共存について
2	宝塚小学校	6年	藤原 将之	緑の道を増やすか、ガードレールを増やす
3	長尾小学校	6年	早川 優莉夏	住みよい街 宝塚市
4	西谷小学校	6年	角野 愛姫	西谷の人を増やしたい
5	西山小学校	6年	堀 花楓	湯のまち宝塚の復活
6	逆瀬台小学校	6年	渡邊 新良太	少子化の今を考えて
7	末広小学校	6年	福富 柚奈	子どもや高れい者にやさしい道路
休憩				
雲雀丘学園小学校 小林 友愛 副議長 が議事進行				
9	安倉北小学校	6年	小宮路 実子 ◎	住み続けられるまちづくりを
10	すみれが丘小学校	6年	西 来未	大階段にベンチの設置、信号なしの横断歩道に信号の設置、トイレのリフォーム
11	宝梅中学校	3年	森脇 高嶺	宝塚市アプリの開発について
12	高司中学校	3年	立脇 圭人	ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止について
13	南ひばりが丘中学校	3年	村上 徳真	公園に柵をつけることで防げる事故やトラブル
14	中山五月台中学校	3年	上田 遥斗	「ウォータークーラー」の設置
15	宝塚西高等学校	2年	澤田 一陽	ヘルメットの着用推奨のためにできること
16	雲雀丘学園高等学校	2年	北川 彩葉	市内におけるながらスマホ防止について

◎議長、○副議長

議長	安倉北小学校	小宮路 実子
副議長	雲雀丘学園小学校	小林 友愛

6 座席表

				子ども政策課長				岡本産業文化部長			
				子ども政策課係長							
				議 長							
				池本子ども家庭室長							
				坂本学校教育部長				吉田経営改革推進担当部長			
				影山新ごみ処理施設整備担当参事				藤本健康福祉部長			
								西垣子ども未来部長			
								池澤都市安全部長			
								濱田都市整備部長			
				演 壇							
				五十嵐教育長				古家企画経営部長			
				高田管理部長				小寺技監			
				富川議長				藤島理事			
				梶川副議長				赤井理事			
								井上副市長			
								山崎市長			
				対面式 発言席							

令和5年度第22回宝塚市子ども議会
(令和5年8月21日)

会議のてんまつ(会議録)

○事務局

大変、長らくお待たせいたしました。
ただいまより、子ども議員が入場いたします。
皆さま、盛大な拍手でお迎えください。
＜子ども議員拍手で入場＞



＜理事者紹介＞

— 開会 午後1時30分 —

— 開 会 —

— 開議 午後1時30分 —



○小宮路実子議長

皆さん、こんにちは。
ただいまご紹介を受けました、議長をつとめます安倉北小学校6年・小宮路実子です。
ただいまから、第22回宝塚市子ども議会を開会します。
開会にあたり、子ども議員を代表し、あいさつをします。

私たち15名は、各学校の中で選ばれた代表です。今日の議会は、私たちにとって、とてもきょうな体験です。このような体験をさせて頂けていることに感謝をし、今日のこの議会が、バタフライ効果の蝶の羽ばたきになるようお願い、精一杯楽しみながら提案を行いたいと思います。

副議長の雲雀丘学園小学校・小林友愛さんには、この子ども議会の最後にあいさつをしてもらいます。

次に、宝塚市を代表して、市長さんにごあいさつをいただきたいと思います。

山崎市長よろしくお願いします。



— 市 長 あ い さ つ —

○山崎市長(登壇)

子ども議員の皆様、保護者の皆様、また、学校関係者をはじめ本日ライブ配信にて傍聴されている皆様、こんにちは。宝塚市長の山崎晴恵でございます。

子ども議会の開会にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

子ども議員の皆様、このたびは、宝塚市子ども議会の議員を務めていただき、ありがとうございます。

この宝塚市子ども議会は、平成19年4月に制定した「宝塚市子ども条例」に定める、子どもの社会参加の促進を目的として、子どもの皆さんに、大人とは違った視点で意見や考えを述べてもらい、宝塚のまちづくりに生かしていくために実施しているものです。

私は、宝塚の将来を担う皆さんと一緒に、宝塚をもっと素晴らしいまちにするためにはどうすればよいかを考え、話し合っていくことによって、この先ずっと住み続けたいくなるようなまち、皆さんに愛されるまち「宝塚」を創っていきたいと考えています。

これまでの子ども議会で出された様々な意見や提案が市政に反映され、実現したこともたくさんあります。しかしながら、実現が難しかったり、すぐには出来なかったりすること、また子ども議員の皆様や地域の方々の協力が必要なこともあります。

そのようなことも含めて、すべて、皆さんの発言を一つひとつ真剣にお聴きして、出来るだけわかりやすくお答えをしてみたいです。

子ども議員の皆様には、この議場で自分の意見が発表できるという貴重な体験を、今後の学校生活に、また、これからの人生に生かしてもらえたら嬉しく思います。

また、2学期が始まりましたら、今日の経験や聴いたこと、感じたことなどを、ぜひ、友だちや先生にお話をしてください。

簡単ではございますが、これをもちまして私のごあいさつといたします。

<子ども議員の拍手>

○小宮路実子議長

山崎市長、ありがとうございました。

ここで、子ども議員からの質問や提案発表の前に、今年度の子ども議員についてご紹介いたします。

私たち子ども議員は、6月に各学校からの推薦により選ばれた小学生9名と中学生4名、高校生2名の合計15名からなります。7月25日の事前学習会での準備を経て、日頃考えていることや、聴きたいことなどを自分たちの視点で考え、発表内容をまとめました。

これから私たちが発表する質問や提案を、ぜひ、宝塚のまちづくりに生かして欲しいと思います。

— 一 般 質 問 —

— カラスとの共存について —

それでは、子ども議員からの発表を始めます。

まず最初は、雲雀丘学園小学校の小林さんからの提案です。小林友愛議員。

(登壇)

雲雀丘学園小学校の小林友愛です。よろしくお願いします。



〔質問全文〕

私の家の周りでごみが荒らされている所があります。荒らしているのはカラスです。登校時によく見かけます。3、4羽で荒らしている時もあります。その荒らされたごみが歩道にも散乱していることもあり、邪魔です。また、そのカラスが私におそいかかってきそうでこわいです。街がよごされているのもいやです。今年になってカラスが増えてきているように感じます。それは、本来住んでいた森が減少したことやカラスは何でも食べることから、街中では生ごみなど栄養価の高いエサが容易に得られることなどが考えられます。また、街中は天敵が少なく暮らしやすいことも理由だと思います。これらのことについて宝塚市が現在取り組んでいることは何ですか。

また、今後の対策はどう考えているのですか。私は、まずごみ捨て場を全て箱形のゴミステーションにすれば良いと思いま



す。そうすればごみを荒らされなくなり、エサがなくなれば暮らしにくくなってカラスが帰っていくと思います。なのでその森林をこれ以上減らさないことが大事です。カラスを減らそうとするのではなく、人と共存し、自然を守り残していくべきです。それがSDGsの達成につながります。そもそもカラスが街中に増えたのは人のせいなので、私たちの手で森林に返してあげたいと思います。以上のことから私は、宝塚市にある全てのごみ捨て場を箱形のゴミステーションにすることを提案します。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

小林議員のご質問に順次お答えします。

カラスとの共存についてですが、ゴミステーションに出されたごみをカラスが荒らすカラス被害については、多くの方からご相談をいただいています。

本市が行っているゴミステーションのカラス被害対策ですが、カラスに荒らされやすい燃やすごみを優先して午前中に収集し、散乱防止に努めています。一方、市民の皆様には、夜間にカラスにごみが荒らされることを防ぐために、ごみは前夜に出さずに、決められた曜日の朝8時までに出すようお願いしています。

さらに、道路上のゴミステーションをご利用の方には、カラスが嫌がる辛み成分入りの防鳥ネットの貸し出しを行うとともに、3年以上使われた古いネットの交換も行っています。また、防鳥ネットの効果的な使い方を本市のホームページで写真を使って分かりやすくお知らせしています。

それらの対策と同時に、本市のSDGsの取り組みの一つとして、市民の皆様には、ごみを減らす努力をお願いしたいと考えています。本市では、家庭から出るごみの減量化・資源化の方法として、ごみになるものを減らす「リデュース」、ごみにせず繰り返し使う「リユース」、ごみを資源として再生利用する「リサイクル」の3つの頭文字をとった3Rの推進に取り組んでいます。また、燃やすごみは、できるだけ水けを切って出していただくなど、皆様のご家庭でもできることから取り組んでいただき、ごみを減らすことができれば、防鳥ネットからはみ出すことも少なくなり、結果的にカラス被害の軽減につながると考えています。

次に、箱型のごみステーションについてですが、小林議員がお考えのように、箱型の「ごみボックス」はカラス被害の防止対策として大変有効ですので、マンションや集合住宅の敷地内のごみステーションであれば、設置していただいています。

一方、箱型のごみステーションを道路上に設置することについては、歩行者が躓いて怪我をすることや、自転車やバイクの転倒事故の原因となる恐れがあることから、道路通行上の安全確保という点で課題があります。

そこで、本市では、折り畳んで片付けることのできる「ごみボックス」について、ごみ収集後は折り畳んで片付けることを条件に、本年4月より購入費の一部を補助する制度を始めています。

これらの取組により、カラス被害の軽減だけでなく、街の美化という効果もあると考えています。

○小宮路実子議長

山崎市長、ありがとうございます。

— 一 般 質 問 —

— 緑の道を増やすか、
ガードレールを増やす —

続きまして、宝塚小学校の藤原将之議員。

(登壇)

宝塚小学校
の藤原将之です。
よろしくお願いします。



〔質問全文〕

まずぼくが提案するのは「緑の道を増やすか、ガードレールを増やす」ということです。なぜ、提案したかというところ、ぼくの校区内には車がふきゅうする前につくられた古くて細い道が多く、歩行者と自転車と自動車が近くあぶないからです。

この前、ぼくが
自転車で道を走っ
ていたら、車が向
こう側からやって
きてぶつかりそう



になりました。友だちもこのように、ぶつかりそうになったことがあると言っていました。そして、最近自転車を始めた弟も「ふつうの道でじっせんしようとしても道が細すぎて、あぶないからできない」と言っていました。もし、道幅が増やせるならそれにこしたことはないけど無理だと思います。だから緑の道を増やすか、ガードレールを増やしてほしいです。これが実現したら、ガードレールで歩行者を守れるし、緑の道で歩道と車道がくっきり分かります。そうすると事故数もグリーンと減ります。そしたら歩行者の安心度もグリーンとあがって安心して道があるようになります。

毎日みんなもぼくも安全・安心して道を使えるように工夫を考えてはいるけどまだ安全には使えません。このようなことからぼくは、「緑の道を増やすか、ガードレールを増やす」に提案しました。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

藤原議員のご質問に順次お答えします。

本市では、市内の交通事故が起こりやすい危険な箇所について、学校や地域の方などからご要望をいただき、歩道のない道路へのグリーンベルトやガードレールの設置のほか、見通しの悪い交差点へのカーブミラーの設置や、注意喚起の看板の設置、夜間に暗い場所への街路灯の設置など、幅広く交通安全対策に取り組んでいます。

緑の道やガードレールを増やすことについては、ご要望いただいた有馬街道と市道川面宝塚線の交差点付近の現地の調査を行ったところ、緑の道による安全対策が完了していました。一方で、道路の幅が狭い場所では、ガードレールの設置や、道路の端を緑色に塗ることが難しいため、代わりに注意を促すマークの設置や、柔らかい素材のポールの設置、交差点を赤色に塗るなどの対策を行うことが考えられます。

今回ご要望いただいた場所のほかにも、通行に危険を感じる場所がありましたら、保護者の方か、通学路であれば学校にご報告いただき、本市道路管理課にご相談ください。

一番大切なことは、皆さんが交通事故に遭わないことです。皆さんも自転車に乗るときにはヘルメットを着用し、すぐに停止できるような速度で左右を確認して走行するなど、交通事故に遭わないよう十分に注意してください。

本市では、藤原議員のご提案のとおり、これからも学校や地域の方と協力して、緑の道やガードレールなどの交通安全対策に取り組んでいきます。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 住みよい街 宝塚市 —

続きまして、長尾小学校の早川優莉夏議員。

（登壇）

長尾小学校の
早川優莉夏です。
よろしくお願いします。



〔質問全文〕

私は、安心・安全で住みやすい宝塚市にするために街灯や防犯カメラの設置数を増やすことを提案します。

子供が被害を受ける犯罪や交通事故のニュースが多く起こっています。そんな中で自分達が住んでいる地区に防犯カメラがどれくらい設置されているのかを調べてみると校区内には 20 台しか設置されていませんでした。

クラスで調査をしてみると、どこについているのかという認知度が低いことがわかりました。自分達が住んでいる地区は安心で安全に向けた取り組みを行っているんだというアピールも必要なのではと感じました。設置にむけての取り組みの中でプライバシーや費用などの問題もあるか



と思います。市内全体でみても 230 台は、少ないように思いました。伊丹市では見守り

カメラや安全・安心カメラなどがたくさん（1,200 台）設置してあります。見守りカメ

ラをふくめた防犯カメラの設置を進め、安全に暮らすことができる街づくりをすることが必要ではないかと私は考えます。

またそれと並行して街灯の数も大変少ないと感じます。自分たちが薄暗い中を歩いていると自転車、車に気づいてもらえないことがあります。歩行者自身も自分を守るためライト反射板などの対策も大切ですが、街灯を増やすことで市民の安全の確保ができるのではないかと考えます。以上のことから私はこの二つのことを提案します。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

早川議員のご質問に順次お答えします。

防犯カメラにつきましては、本市では、犯罪を未然に防止し、市民の日常生活の安全を確保するため、宝塚警察署とも協議の上、公共性が高い駅周辺や主要幹線と生活道路の交差点などに、「安全・安心カメラ」の名称で、230台の防犯カメラを設置しています。その内の約7割が小学校の通学路と重なる配置となっており、小学生の見守りの意味でも一定の役割を果たしているものと考えています。

また、県や市の補助金を活用して、自治会などの地域団体が地域内に設置している防犯カメラも、現在、市域全体で109台が稼働しています。

防犯カメラの設置については、防犯力を更に高めるために増設を希望される方がおられる一方で、個人のプライバシー保護の観点から行政による防犯カメラの設置は好ましくないとする方もおられます。

また、自治体によっても防犯カメラの設置について考え方に違いがあり、阪神間の市町でも設置状況は様々です。

本市としては、他の自治体の取組状況を参考にしながら、現在設置しているカメラの効果を検証し、今後の運用について検討したいと考えています。

次に、街灯を増やすことにつきましては、街灯は夜間の交通安全と犯罪防止に大変重要な役割を果たすものと考えています。

早川議員からご要望いただいた長尾小学校から松尾神社南側までと、山本園芸流通センター西側から天満神社西側までの道路について現地の調査を行いました。

その結果、概ね適正な間隔で設置されていましたが、一部で間隔が広い箇所があることが分かりましたので、街灯の数を増やすことを検討しています。

また、街灯がひどく汚れている箇所については、清掃を行って少しでも明るくしたいと考えています。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 西谷の人を増やしたい —

続きまして、西谷小学校の角野愛姫議員。

（登壇）

西谷小学校の角野愛姫
です。よろ



しく願います。

〔質問全文〕

私は2つのことを願います。

1つ目は西谷のまちを元気あふれる場所にしたいです。

2つ目は西谷の人口を増やしたいです。

その理由をこれから説明します。

西谷には問題点が2つあります。

1点目は西谷に住みたくても、住めないことです。例えば、西谷に引っこしてきたくても、家を建てられないルールになっているからです。今、西谷小学校の児童数は去年は60人、今年は50人、来年は45人になる予定で、年々へってきています。運動会など、園小中合同で、行っていますが、出来ることがどんどんへってきています。

2点目は車がな
いと生活できない
ことです。西谷に
は、コンビニやス
ーパーといったし



せつがありません。いな川や三田に西谷に住んでいる人は、買い物へとおくまで時間をかけていっています。つまり、西谷に引っこしてきても、生活が不便になります。

この2点をふまえて、私は2つのことを提案します。

1つ目、住めるようにして、引っこしてこれるようにしてほしいことです。

2つ目、生活のしやすいように、コンビニ、スーパー、イオンなどを建ててほしいことです。

西谷の人の思いを知ってもらえたらうれしいです。このことは、言っただけでなく、一度、本気で考えてほしいです。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

角野議員のご質問に順次お答えします。

西谷に家やコンビニなどの建物を建てられるようにしてほしい、につきましては、西谷地区は、自然環境に配慮のなされない開発が行われることを防止し、豊かな自然を残すために、長く西谷地区に住んでいる人の住宅の建て替えや、農業を営む人の住宅は建てることはできますが、新しい住宅や建物を建てることができない区域に指定されています。

角野議員のお願いのように、西谷地区の人口を増やしていくために、もっと建物を建てやすくできるよう、新しく建てる時に必要な手続きを簡単にするのと、地域の方が新しい住民を受け入れる宅地を計画する制度を作りました。また、コンビニエンスストアについては、民間の事業者が建てることのできるようなルールもあります。

次に、「西谷のまちを元気あふれる場所にしたい」、「西谷の人口を増やしたい」ということについては、私も同じ思いです。そこで、豊かな自然をはじめ、歴史や伝統などの魅力を広くPRして、多くの方に西谷地区を訪れてもらい、元気あふれるまちになるように、観光スポットや、ダリア、牡丹などの情報発信を行い、地域の方々と協力した、参加者が笑顔で楽しめるようなイベントを開催しています。また、地域の方により運営されるウェブサイト「宝塚にしたにSMOCCA(スモッカ)」では、西谷に住みたいという人の相談や空き家情報の紹介をして、西谷のことを好きになった人が西谷

に住めるようにするなど、これからも地域の皆さんと一緒に話し合い、共に考えていきます。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 湯のまち宝塚の復活 —

続きまして、西山小学校の堀花楓議員。

(登壇)

西山小学校
の堀花楓で
す。よろし
く願いま
す。



〔質問全文〕

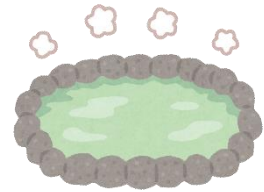
私が提案するのは「宝塚の温泉街を復活させる」ということです。

なぜなら、宝塚の温泉がもっと有名になって、宝塚が東京のような人気のある街になって欲しいからです。

宝塚はもともと「湯のまち宝塚」と言われるくらい温泉街がにぎわっていて、そこに来た人たちの遊び場所として作られたのが「宝塚歌劇」と言われています。それほど昔は宝塚といえば「温泉」と言われるほど有名でした。しかし、阪神大震災などの影響でにぎわっていた温泉街が縮小し、今では数件の温泉施設があるだけで、温泉街がにぎわっていたということを知らない人が増えていると思います。西山小学校で、「にぎわっていた温

泉街を知っているか」というアンケートをとった結果、685人中、319人が知りませんでした。

そこで私は、温泉旅館をたくさん作れば、にぎわった温泉街が復活すると思いました。でも、それ



は難しいことだと思うので、まずは全国から宝塚歌劇を見に来た人に、次回宝塚に来るときは、宝塚温泉に泊まってもらえるような宝塚温泉のPRが書かれているパンフレットなどを配ることで、宝塚温泉に宿泊する人が増え、温泉旅館を作る会社が、宝塚に作ろうと検討するかもしれません。それがきっかけで、にぎわった温泉街が復活し、たくさんの人が宝塚に来て東京のような街になれば嬉しいと私は思います。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

堀議員のご質問に順次お答えします。

宝塚の温泉街を復活させるにつきましては、宝塚温泉が最も賑わった1960年代には60軒を超える温泉旅館が立ち並び、大阪万博が開催された1970年には年間約133万人が宿泊したものの、現在は宝塚温泉を楽しめる施設は3軒のみとなっています。

有馬温泉と同じ泉質の金宝泉と銀宝泉が湧く宝塚温泉は、本市にとって多くの温泉客を癒し続ける貴重な観光資源です。

また、明治時代に宝塚温泉の泉源のすぐ近くで湧き出ている炭酸泉が英国人ジョン・クリフォード・ウィルキンソンによって発見され、瓶詰めをして炭酸飲料「ウィルキンソンタンサン」として売り出されました。当時は瓶詰工場や洋式高級ホテル「タンサンホテル」があり、多くの外国人が本市を訪れたという素敵なエピソードがあります。しかし、温泉については、各施設において若い世代の温泉離れが心配されています。今回、堀議員が温泉に注目してくださったことを、私もうれしく感じています。

宝塚温泉は、今年で開湯 800 年を迎えました。春には武庫川河川敷で温泉やタンサンの歴史を知るイベントが開催され、秋には温泉をお題とした川柳コンテスト、ナチュラルスパ宝塚での音楽ライブが予定されています。また、細川貂々さんによるデザインのかえるをモチーフにした宝塚温泉のキャラクターを用いて温泉記念グッズを作成する予定で、温泉施設や地域の方たちと一緒に宝塚温泉の PR を行い、盛り上げているところです。

さらに、提案してくださっているように、宝塚歌劇を観劇しに来られた方々がもっと宝塚温泉にも泊まっていただくためにパンフレットや SNS、動画などを通して市内外に発信を続けていきます。

加えて、2025 年大阪・関西万博では、兵庫県が実施している「ひょうごフィールドパビリオン」においても、「タンサンと湯のまちのルーツさがし」がプログラムに認定され、今後、宝塚温泉に関心を持った観光客が多く訪れることが期待できます。

これから宝塚温泉が多くの観光客でにぎわい、魅力的なお店が増えてまちが活性化していくために、ご提案も参考にしながら取り組んでいきます。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 少子化の今を考えて —

続きまして、逆瀬台小学校の渡邊新良太議員。

(登壇)

逆瀬台小学校の渡邊新良太です。よろしくをお願いします。



〔質問全文〕

わたしは、逆瀬台小学校区の豊かな山やきれいな川を利用したキャンプやアスレチック、サバイバルゲーム、ドッグランなどの施設の建設を提案したいです。近年、全国的に見ても少子化の波が訪れているのは、周知の事実だと思います。逆瀬台小学校の児童数は毎年平均10人程度減少しています。実際に、逆瀬台小学校の児童数の減少により、1クラスのみの学年も増えています。これにより、クラス替えができず、友だち関係の固定化も心配されています。また、教員数も少なくなり、クラブ活動の数も制限せざるを得なくなっています。わたしは、逆瀬台小学校区に児童を少しでも増やし、活気のある校区にしていきたいと思い、このような提案をしました。



宝塚市にその地域の良さを生かしたテーマパークが建つことに

よって、子どもをもつ世帯はとてもありがたいし、子ども自身も気軽に外で遊べる場所があるということは喜ばれると思います。実際に建設費用についても市にすべて任せるのではなく、寄付を募っていくなどできる限り自分たちで考えていきたいと思っています。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

渡邊議員のご質問にお答えします。

本市では、今後の人口減少にどのように取り組んでいくのかを定めた計画「夢・未来たからづか創生総合戦略」の中で、子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくりを目指しています。そのためには、子どもがたくさんの遊びや学びを経験し、心豊かにいきいきと育つ環境を作っていく必要があると考えており、地域の良さを生かしたテーマパークや、子どもが外で遊べる場所をつくることは非常に興味深いご提案だと思っています。

ただ、実際に山の中などにテーマパークをつくるには、いくつかの課題があります。

1つ目は、市の施設をこれ以上増やすのは難しいということです。少子高齢化による人口減少が更に進むと、子どもの数が減り、その子どもたちが大人になる頃には、働く世代の人たちが大幅に減ることになります。そうすると、市の収入となる税金が減っていきます。その一方で、高齢化が進むと、医療、介護などの社会保障に必要なお金が増えることになります。そのため、限られたお金の中でも将来に亘って安全に施設を維持できるよう本市では新しい施設を増やさずに、今

ある施設をまとめたり減らしたりしていく計画を作り、取り組んでいるところです。

2つ目は、実現に向けての課題です。市や民間でテーマパークを整備するにあたっては、どこに整備するのか、環境や騒音などの観点から問題はないか、さらに集客がどれだけ見込めるのかなどを検討することも必要です。

これらを考えると、すぐにテーマパークの整備を実現するのは難しいですが、本市では今後、公園を交流の場、にぎわいの場として更に活用するため、どのような公園にしていきたいかを地域の方と話し合っ決めていく、「宝塚市パークマネジメント計画」を作る予定です。その中で、アスレチックのような遊具を置いてほしいという意見が多ければ、設置に向けて検討していきます。ぜひ小学生や中学生の皆さんの声を反映していきたいと考えていますので、魅力ある公園づくりに向け、意見を寄せてもらえると嬉しいです。

渡邊議員のご提案も参考にしながら、引き続き、市の魅力を高める取組や、子どもがいきいきと育つ環境づくりを進め、人口の減少や、少子化を抑えることができるよう努力していきます。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 子どもや高齢い者にやさしい道路 —

続きまして、末広小学校の福富柚奈議員。

（登壇）

末広小学校
の福富柚奈で



す。よろしくお願いします。

〔質問全文〕

私は、子どもや高れい者が安心して歩ける歩道があればいいと思います。理由は、自分が歩いているときや自転車に乗っている時にこわいと感じることがあったからです。自転車で速いスピードで走ったり前から来る自転車とすれちがうときにその自転車が右側によけたので、左側を走っていた私とぶつかりそうになったことがあります。私も急いでいる時にスピードを出したことがあるので、周りの人にめいわくをかけてしまったのかな、と思ったことがあります。こわい思いをさせないように気をつけようと思っています。

安心して歩けるようにするには、自転車専用道路があればいいと思います。今は自転車専用道路が少ないから、通学路やいろいろな所にもっと増えるといいと思います。実際に私の通う学校の前には自転車専用道路がありません。自転車のルールを知らない人もいる



と思うので、学校で交通安全教室があればいいと思います。ようち園の時には交通安全教室がありましたが、改めてもう一度小学校でもあると交通ルールを覚えることができると思います。交通安全教室を受けることができなくても、ポスターならはれると思います。いろいろな人が見やすいところにはることによって、大人も子どもも、交通ルールに関心をもってもらえるといいと思います。

これからも子どもや高れい者が安心して使える歩道について、日ごろから考えていきたいと思っています。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小宮路実子議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

福富議員のご質問に順次お答えします。

安心して歩道を歩けるようにするために、自転車が通る場所を作ったほうが良いとのご提案につきましては、本市も同じ考えを持っています。そこで、本市では、市内の自転車の利用が多い路線などを対象に、車道の左端を青色に塗る「自転車レーン」の整備を進めています。

また、「自転車レーン」よりも、自転車が専用で使うことができる「自転車道」のほうがもっと安全になるという考えは、理解できます。ただ、本市では自転車道を整備するだけの幅に余裕のある道路がないため、今後も引き続き自転車レーンの整備を進めていく予定です。

次に、自転車の交通ルールの啓発につきましては、本市では、幼稚園や小学校での交通安全教室、自転車教室を実施しています。交通安全教室は小学校1、2年生を中心に、自転車教室は小学校3、4年生を中心に、各学校園からの依頼に基づいて実施しており、各学校の地域児童育成会でも同様に、交通安全教室を実施しています。

また、市内の各地域でも、自治会など地域団体からの依頼に応じて、子どもや大人を対象とした教室や講習会を実施しています。

その他、これらの教室に加え、交通安全運動期間に宝塚駅前の広場で実施しているキャンペーンなどの啓発活動、本市ホームページ

ジでの啓発記事掲載などを通じて、交通ルール、自転車のルールやマナーの理解が進むよう取り組んでいます。

自転車のルールやマナーの啓発ポスターについては、市役所の駐輪場や市内各駅の市立自転車等駐車場などに掲示し、利用者の皆さんの目に留まるようにしています。福富議員からご提案のありました学校園での掲示についても、各学校園と相談し、進めていきたいと考えています。

○小宮路実子議長

山崎市長ありがとうございました。

ここで、しばらくの間、休憩をします。

午後2時40分から会議を再開します。

再開後は、副議長の小林さんと議事進行を交替します。小林さんよろしくお願いします。

— 休 憩 午後2時30分 —

— 再 開 午後2時40分 —

○小林友愛副議長

ただいまから会議を再開します。

議事進行をつとめます副議長の雲雀丘学園小学校6年・小林友愛です。

— 一 般 質 問 —

— 住み続けられるまちづくりを —

続きまして、安倉北小学校の小宮路実子議員。

(登壇)

安倉北小学校の小宮路実子です。
よろしくお願いします。



〔質問全文〕

私は宝塚市をより良い街にしたいです。SDGsの十七のゴールの一つに「住み続けられるまちづくりを」というものがあり、私はこれに賛成です。

危険な街、人と人の繋がりが少ない街、そのような街に住み続けたいと思う人は少なく、良い街とは言えません。それでは、どのような街が良い街なのでしょう。ここで私は提案したいと思います。

小学校、老人ホームやデイサービス等と交番をくっつけたいです。過去に小学校や老人ホーム等を狙った犯罪が多くあることをニュースで知りました。交番とくっつけることによって、小学校と老人ホーム等の安全性を高めたいです。また、核家族が増え、幅広い年代との関わりがうすくなっているのを老人ホームの人々と小学校が給食中や総合等の授業の時間にコミュニケーションもとれるようにしたいです。私のひいおばあちゃん是一人暮らしでデイサービスに行っています。たくさんの人と話ができる時間を楽しんでいます。それにくわえ小中学校生と関わりをもつことができれば、さらに良いと思います。



このように、危険が少なく、人と人の繋がりがあ
る街を目指すことでだれもが住み続けたいと思

える、より良い街に宝塚はなっていくでしょう。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

小宮路議員のご質問に順次お答えします。

住み続けられるまちづくりをのうち、老人ホームやデイサービス等と交番をつなぎ安全性を高めることにつきましては、最近、ニュースなどで施設の入所者を狙った犯罪などが報道されています。本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療や介護、住まいなどを地域で切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に取り組むこととしており、その推進のための計画の基本理念を「健康で、安心して自分らしくいきいきと暮らし続けられるまち宝塚」としています。高齢者が安心して地域で暮らすためには、お住まいや入居する施設が安全であることが不可欠です。このことが、SDGsのゴールの1つである「住み続けられるまちづくりを」にもつながるものと考えています。

老人ホームやデイサービスなどの高齢者施設は民間事業者が設置する施設となりますので、小宮路議員のご提案の高齢者施設と交番との複合施設については兵庫県と民間事業者との協議が必要となります。

高齢者施設においては引き続き、施設の整備や点検、職員研修などを行うほか、関係機関や地域にお住まいの皆さんとの協力、連携体制を構築することで、日ごろからの防犯意識の強化、安全の確保に取り組んでいただくことが重要と考

えており、本市として周知啓発に努めていきます。

教育に関することについては教育長からお答えします。

○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

小宮路議員の教育に関するご質問に順次お答えします。

まず、小学校、老人ホームやデイサービス等と交番をつなぎ安全性を高めることにつきましては、小学校の中に交番を併設することは交番の設置条件にあてはまらないため困難ですが、現在小学校では、一斉防犯活動、不審者対応訓練、保護者や地域の方や青少年センターによる登下校時の見守りに取り組み、警察などの関係機関と連携しています。また、防犯カメラの活用や校門の施錠管理によって安全な学校の環境づくりを行っています。そして児童が、登下校時や外出時には防犯ブザーを携帯したり、家族と1日の予定や計画を共有したりするなど、一人ひとりの防犯意識を高める指導を各学校で行っています。

次に、老人ホームの人々と小学校が給食中や総合等の授業の時間にコミュニケーションをとることにつきましては、現在は日常的な交流ということではできていませんが、人生の先輩の知識や経験から学ぶために、昔遊びの授業や校内のクラブ活動、たからづか寺子屋事業などにおいて地域の方に協力していただいています。また、平和



学習の一環で被爆者の方を学校に招いてご講話いただくなど、様々な活動でコミュニケーションの場を設定しているほか、中学2年生の時に地域での様々な体験活動を行うトライやる・ウィークでも、老人ホームで活動する場合があります。今後子どもたちとお年寄りの方々と多く触れ合える機会を考えていきます。

今回のご提案にあるように、心が重くなった時や何気ない話を誰かに聞いてもらえるような機会も大切です。

今後、ご提案も参考にしながら、各学校や老人ホーム、警察とも協議し、取り組んでいきます。

○小林友愛副議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 大階段にベンチの設置

信号なしの横断歩道に信号の設置

トイレのリフォーム —

続きまして、すみれが丘小学校の西来未議員。

(登壇)

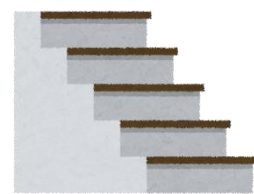
すみれが丘
小学校の西
来未です。
よろしくお
願いします。



[質問全文]

今回子ども議会でご提案してほしいことを、6年生全員から募集しました。その中から三

つ提案させていただきます。まず一つ目は「大階段にベンチの設置」という提案です。理由としまし



ては大階段は地獄の階段と呼ばれるほど段数が多いのですが一番上に着くまでに休けい場が一つもなく、一年生などがとてもつらそうだからです。二つ目は「信号のない横断歩道に信号の設置」という提案です。理由としてはとあるニュースで信号なしの横断歩道で歩行者がいても一時停止をしない車は9割というデータが発表されることがありました。9割も止まらないということは事故が起きる可能性が高く、とても危険だからです。三つ目は「トイレのリフォーム」という提案です。理由としてはすみれが丘小学校ができてからトイレが一度もリフォームされておらず悪臭が漂っていたり、二、三回流さないといけないトイレがあるという現状を変えたいと思ったからです。少しでも多くの方が楽に学校に通えるようにご検討願います。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長 (登壇)

西議員のご質問に順次お答えします。

大階段へのベンチの設置につきましては、階段の途中にベンチがあることで休憩ができるようになる一方で、躓いて転倒や転落すると大変危険であるため、安全対策なども含めて学校や地域の方と相談させていただいた上で、設置を検討したいと考えています。

次に、信号のない横断歩道への信号の設置につきましては、信号機は、警察庁が定める設置基準に基づき、県の公安委員会が設置を検討するものであり、設置を要望する場合は、周辺住民の皆さんの意見として自治会など地域団体から宝塚警察署にご相談いただくことになります。

横断歩道の手前で一時停止しない車両については、交通違反車両の取締りは宝塚警察署の所管ですが、本市としても、地域団体から同じような実態をお聞かせいただいた場合は、宝塚警察署に情報提供するとともに、地域の皆さんと相談の上、横断歩道の手前に「この先横断歩道あり」「横断者に注意」などの通過車両に向けた注意喚起の看板を設置している場所もあります。

通行に危険を感じる場所がありましたら、保護者の方か、通学路であれば学校にお伝えいただき、宝塚警察署または本市道路管理課にご相談ください。

一番大切なことは、西議員や皆さんが交通事故に遭わないことです。横断歩道を渡る時には、決して飛び出さず、左右を確認して通過する車両に十分注意し、安全な通行を心がけてください。

教育に関することについては、教育長からお答えします。

○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。
五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

西議員の教育に関するご質問にお答えします。

すみれが丘小学校のトイレのリフォームにつきましては、すみれが丘小学校は、築後33年が経過し、建物の老朽化が進んでいることもあり、今

年度から3年をかけて校舎と体育館の改修工事を実施し、その後、引き続いてトイレ改修工事に着手していく予定です。

トイレ改修工事では、これまでの水洗い式のトイレから、匂いがつきにくい拭き取り式のトイレにリフォームします。リフォームするまでの間、壊れたところは、日頃の点検で見つけて、その都度修理していきます。西議員がご指摘の、トイレの流れが悪いところなど不良箇所については、現場を調査し速やかに修理します。その他に鍵の不良など、壊れたところを見つけた場合は、まず、先生に伝えてください。

学校から連絡をもらったら、現場を確認して、気持ちよく学校生活が送れるように、学校環境を整えていきます。

○小林友愛副議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 宝塚市アプリの開発について —

続きまして、宝梅中学校の森脇高嶺議員。

（登壇）

宝梅中学校の森脇高嶺です。よろしくお祈りします。



〔質問全文〕

私は、宝塚市のアプリを開発することを提案します。

宝塚市の公式ウェブサイトを見、子どもやスマートフォンに慣れ親しんでいる人にはアプリの方が見易く使い易いと思ったからです。

アプリとウェブサイトでは、使う人の目的により、対象となる人が異なります。アプリはリピーター、ウェブサイトは市外の方や新規ユーザーに向いているといえます。言い換えると、市外の方に宝塚市をアピールするツールとしてはウェブサイトが有効といえます。一方、宝塚市民に向けて、市の取り組みや気象情報を伝えるにはアプリの方が向いているといえます。具体的には、例えば末広体育館の予約状況を見ると、現在のウェブサイトだけの体制では、検索エンジンを起動し、検索をかけ、ウェブサイト内でその情報を探さなければならぬので時間と手間がかかります。それに比べ、アプリを導入すると、アプリを開き、アプリ内で探すだけとなり、検索エンジン内で検索する分の時間と手間が省けます。アプリの導入で、市民は市の必要な情報に手早くアクセスできるようになります。それによって、市民は市の施設や、行政そのものに関心を持ち、よりよい市をつくる助けにもなるのではないかと考えます。

以上の理由から、20万人以上もの市民のために、アプリを開発することを提案します。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。



○山崎市長（登壇）

森協議員のご質問にお答えします。

本市のアプリを開発することにつきましては、他市では地域の特色や住民のニーズに応じて、イベントや観光、防災などの情報をお知らせする公式アプリを導入している事例があり、素早く情報を伝える手段として活用されています。本市では、災害時に防災スピーカーから放送される内容をスマートフォンから聞くことができる「CosmoCast」や、ごみの収集日や分別方法を知ることができる「さんあ〜る」というアプリを活用しています。

また、新たなアプリの開発ではありませんが、現在、約1万3千人の登録者がいる宝塚市公式LINEの機能拡充を行う予定で、11月のサービス開始に向けて準備を進めています。これにより、例えば、観光や防犯、子育てなど、市民の皆様が知りたい分野を選んでその情報だけを受け取ることができるようになり、ウェブサイトを検索しなくても最新の情報にアクセスしやすくなります。

さらに、ウェブサイトへのリンク先の表示を現在の6つから大きく増やすことで、アプリのように、ごみの出し方や公共施設の予約状況など様々な情報を素早く確認することができるようになります。

現在、本市の取組やまちへの、市民の皆様の関心を高められるような広報活動をめざして、広報戦略の策定を進めているところです。今回、森協議員にご提案いただいた新たなアプリ開発を含め、より効果的な情報発信について研究していきます。

○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— ゴミ捨て場のカラスによる
被害と防止について —

続きまして、高司中学校の立脇圭人議員。

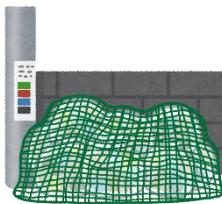
(登壇)

高司中学校の
立脇圭人です。
よろしくお願いします。



〔質問全文〕

僕は、ゴミ捨て場の周りにカラスが何匹もいる所をたくさん見てきました。そのカラスは、ゴミを散乱させたり、道の邪魔をしていました。そこで僕は、ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止について提案します。カラスによる被害は、道にゴミが散乱し、道を通る人が通りにくくなっているという事態が挙げられます。そしてその散乱したゴミを掃除するのは地域の人達です。せっかくゴミ捨て場にゴミをまとめて捨てているのに、また掃除をするというのは、二度手間になっていると思います。そこで、僕が思う解決方法は全てのゴミ捨て場にカラスよけのネットを配置することです。そうすることによって、くちばしが届かなくなり、ゴミの散乱は減ると思います。カラスは頭が良いので、かぶせたネットに重石や水を入れたペットボトルを置き、



めくられない、隙間をつくらないようにする対策も必要だと考えました。このように、地域の人達が安心して暮

らせるように今一度対策を考えてほしいです。宝塚市は道に落ちているゴミも少なくとても良い町だと思います。なので、これからもキレイな町でありたいと考え、このような提案をしました。これで僕からの提案を終わります。ありがとうございました。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長 (登壇)

立脇議員のご質問に順次お答えします。

ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止につきましては、カラスはとても賢く、餌となる燃やすごみの日になると、ごみに防鳥ネットが被せられていないなど、カラスが狙いやすいごみステーションでごみをあさり、道路上にごみを散乱させてしまいます。

道路上などに散乱したごみは、ごみステーションの利用者の方に清掃をお願いしていますが、ごみが道路にこびりつく、隣の家敷地内にまで飛び散るなど、掃除の大変さについて多くの方からご相談をいただいています。また、交通量の多い道路上の清掃などは危険も伴います。

本市が行っているごみステーションのカラス被害対策ですが、カラス対策の基本は、カラスの餌となる燃やすごみを長時間ごみステーションに放置しないことと、防鳥ネットで隙間なくごみを包み、カラスがごみをあさる隙間を作らないことです。

そこで本市では、燃やすごみを優先して午前中に収集することで、カラス被害の軽減に努めています。また、市民の皆様には、夜間にカラスにごみが荒らされないよう、前夜のうちからごみを出

さず、当日の朝8時までに出すようお願いしています。

さらに、道路上のごみステーションをご利用の方には、カラスが嫌がる辛み成分入りの防鳥ネットの貸し出しを行っています。立協議員がお考えのように、防鳥ネットはごみを出す皆さんが、ネットでごみ袋全体を包み込むように使っていただかなければ効果がありません。本市のホームページでは、写真などを使って、正しい使い方をわかりやすくお知らせしています。また、ごみステーションの利用者の方からご相談があれば、「カラスに荒らされないようごみ袋をネットできちんと包んでください」といった内容の看板を設置するなどしています。

どうしても、ごみが多く防鳥ネットで包めない場合などは、ネットを多くお貸しすることや、ごみステーションを分けるなどして、効果的に使っていただけるようにしています。

また、本市では、折り畳んで片付けることのできる「ごみボックス」について、ごみ収集後は折り畳んで片付けることを条件に、本年4月より購入費の一部を補助する制度を始めています。

これらの取組により、カラス被害の軽減、街の美化に効果があると考えています。

○高橋舞議長

山崎市長ありがとうございます。

— 一 般 質 問 —

— 公園に柵をつけることで 防げる事故やトラブル —

続きまして、南ひばりガ丘中学校の村上徳真議員。

(登壇)

南ひばりガ丘
中学校の村上徳
真議員です。
よろしくお願
いします。



〔質問全文〕

私は、昨年子ども議会の提案からボール遊びを禁止している公園があると知りました。そこで私は、公園に柵をつけることが大切だと考えました。どうしてこのように考えたのか、2つ理由を説明します。1つ目の理由は、ボールが外に出る危険があるからです。私の家の近くには山手公園という公園があり、そこは道路が公園の近くにあったり民家があったりし、近所の子ども達がよく使う公園です。このような公園でボール遊びをし、ボールが公園の外に出てしまうと急にきた車、自転車の運転手の人がケガをする、最悪の場合ボールをとりよきた子どももケガをしてしまいます。以上が1つ目の理由です。2つ目の理由は、近所の人に物が入ってしまうのを防げるからです。もし公園の近くの家にボールが入ってしまうと窓ガラスや、花壇の花を傷つけてしまう可能性があります。そうすると相手も家のものが壊され嫌な気持ちになるし、自分も壊してしまった思いで嫌な気持ちになりその後、楽しく遊べなくなってしまいます。以上が2つ目の理由です。このようなことが

おこらないようになってほしいと思い柵について提案しました。その地域の問題もあると思いますが、ボール遊びを安全に



楽しくしたい子どももたくさんいると思います。他にも案はあると思いますが宝塚市がこれまで以上に活気のある子どもがたくさんいる市にしたいと思い、提案しました。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

村上議員のご質問に順次お答えします。

市内の公園においては、ボール遊びについて原則禁止としていませんが、周辺の住宅や道路への飛び出しなどの危険があったり、他の公園利用者に迷惑となったりするようなボール遊びはしないようにお願いしています。

村上議員にとって身近な公園である雲雀丘山手公園では公園の前の道が坂道になっており、ボールが飛び出すと大変危険です。本市としましても、市内の同じような公園には、まずはボールなどが飛び出さないようにする簡易的なネットや、注意を促す看板を設置することなどで対策を講じているところです。

次に、公園に柵をつけることについてですが、今年度は平井公園において、南側の線路や民家へのボールの飛び出し防止を目的に、高さ4メートルの柵を設置する予定です。冬頃に完成予定ですので、是非、遊びに行ってみてください。

市内の他の公園に新しく高い柵をつけることについては、大掛かりな工事と多くの費用が必要となります。また、高い柵を設置することで、思いつきボールなどを投げたり蹴ったりして、周りに危険や迷惑となることもありますので、公園の利用について地域の方ともよく話し合う必要があります。安心してボール遊びがしたいという子ども

たちの声を地域の方へお伝えし、設置について関係者の方々と一緒に検討していきます。

○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 「ウォータークーラー」の設置 —

続きまして、中山五月台中学校の上田遥斗議員。

（登壇）

中山五月台中学校の上田遥斗です。よろしくお願いします。



〔質問全文〕

僕達の中学校では、今まで生徒総会などで、「ウォータークーラー」を設置してほしいという意見がたくさん出ていました。ですがそのほとんどが費用や衛生面などで意見が見おくられてきました。しかし、近隣の市では設置されている市が多いです。最近では暑くなってきているので、熱中症予防にもなる可能性も考えられます。さらに、多めに水をもってきているのが、なくなってしまい直結給水を使う人がたくさんいますが、衛生的な事を考えるのなら、それこそ「ウォータークーラー」の方が良いと思います。

次に、私たちの学校では直結給水が三年生のげた箱付近にあるのですが、体育館や

一・二年生の場所からとても遠くて、行くのも大変です。「ウォータークーラー」を体育館の近くに置いたりしたら、もっと学校が良くなると思います。それ以外でも、バスケ部や卓球部は体育館などの室内でのスポーツです。室内こそ、熱中症の危険性が上がると思います。「ウォータークーラー」をつければ生徒への安全性が上がると思います。これらのことから、宝塚市内の中学校にもウォーター



クーラーの設置を検討して頂きたいです。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

五十嵐教育長。

○五十嵐教育長（登壇）

上田議員の教育に関するご質問にお答えします。

ウォータークーラーの設置につきましては、これまで子ども議会をはじめ、多くの要望をもらっていますが、過去に感染症の問題が発生したため、ウォータークーラーを取り外し、各学校にウォータークーラーの代わりに、「直結水道」を設置した経緯があります。

この直結水道の蛇口の水には浄水場で水質管理された水が直接送られていて、持ってきた水筒の水やお茶が足りなくなった時には、安心して飲んでもらうことができます。

近年では、ウォータークーラーの性能が上がり、機器のタンク内の水が自動で入れ替わるなど、水の清潔を保てるようなものが出てきています。ただし、性能が上がったとしても、日々、安全

に使用できるよう日常的な維持管理や設置に関する費用が必要です。

こうした費用面や衛生管理面などクリアしなければいけない課題がありますが、ウォータークーラーを設置して「冷たくておいしい水が飲みたい」という皆さんの想いは、上田議員のご質問を通して十分伝わりましたので、今後設置について検討していきます。

熱中症予防には水分補給が大切ですので、日常の衛生管理に気をつけながら、家から持ってきた水筒のお茶や水と、設置した水飲み場の水も飲んで、しっかり水分補給を心がけてください。

○小林友愛副議長

五十嵐教育長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— ヘルメットの着用推奨のために
できること —

続きまして、宝塚西高等学校の澤田一陽議員。

（登壇）

宝塚西高等学校の澤田一陽です。よろしくお願ひします。



〔質問全文〕

私は「ヘルメットの着用推奨のための取り組み」について提案します。最近、自転車

が絡んだ交通事故が増えているように感じます。このままではみんなが安心して暮らせる街とはかけ離れ、救える命も救えないという事態に陥るなど、放ってはいけない問題だと思いました。内閣府からは「自転車安全利用五則」が発表されています。「通行は車道が原則、歩道は歩行者優先」やヘルメットの着用に関する内容などが記載されています。実際にこれらを守れているのでしょうか。振り返ってみると、これを完璧に守れている人は少ないと感じます。そんな中、私はヘルメット着用の努力義務について考えました。街中の様子を見ると、全世代にヘルメット着用が浸透しているとは思えません。なぜヘルメットの着用が少ないのか、自分なりに考えてみると「デザインがダサイ」「被るのがめんどくさい」「わざわざ購入するのがもったいない」などの理由が挙げられました。これらを解消して着用を推奨するために「ヘルメット無償配布」を提



案します。市から市民向けにヘルメットを無償で配布するというもので、市民全員がヘルメットを所持することになり、ヘルメットを着用する人が増えると思います。また、デザインについては市民から公募したり、市民がデザイン案を投票したりすることで、街や利用者になじむデザインになると思います。このような対策を取ることで、ヘルメット着用の文化が定着するのではないのでしょうか。

これで提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

澤田議員のご質問にお答えします。

自転車ヘルメット着用の推奨につきましては、人身交通事故のうち自転車に関係する事故の占める割合が近年増加傾向にあることから、本市では、交通安全計画において自転車事故の減少を目標として掲げ、学校園や地域での自転車教室、市内各所での啓発活動、市立自転車等駐車場でのポスター掲示など、自転車のルールやマナーの啓発に取り組んでいます。

中でも、自転車ヘルメットの着用については、本年4月、改正道路交通法の施行により、着用が努力義務化されましたが、この改正に先立ち、本市では2018年10月から自転車の安全利用に関する条例にヘルメット着用の努力義務を規定し、啓発を進めてきました。

その取組のひとつとして、ヘルメット市民モニターとして約100名の市民にヘルメットを貸与し、着用を体験いただいた上でアンケートを実施しましたが、「着用が面倒」、「必要を感じない」など否定的な意見があり、着用する習慣の定着はあまり見られませんでした。

この結果から、一律にヘルメットを配布するよりも、ヘルメットの効果や安全性を理解いただき、着用するべきであるとの意識を高めるための啓発を強化、継続していく必要があると考え、昨年度には、県立宝塚東高等学校の協力を得て、啓発用のイラストデザインを同校の生徒に作成していただき、交通安全キャラバンカーにイラストを貼り付け、また同じイラストを使用したチラシの配布や、ポスターやのぼりの掲示により、関心を高めよう取組を実施しています。

また、本年の夏の交通事故防止運動に合わせて、7月18日には県立宝塚東高等学校、翌19日には県立宝塚西高等学校の校門付近で、各校

の生徒代表の方々と一緒に、登校する生徒に自転車の安全利用をはじめ交通安全を呼び掛ける啓発活動を実施したところです。

澤田議員のご提案も参考にしながら、今後もヘルメットが自身の命を守るために有効であるとの認識が広まり、定着するよう啓発活動に努めていきます。

○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。

— 一 般 質 問 —

— 市内における

ながらスマホ防止について —

続きまして、雲雀丘学園高等学校の北川彩葉議員。

(登壇)

雲雀丘学園高等学校の北川彩葉です。よろしくお願いします。



〔質問全文〕

私は市内におけるながらスマホ防止についての提案をします。ながらスマホと聞いて少しぎくっと来た方もいるかもしれません。ながらスマホとは、歩きながら、自転車や自動車などを運転しながらスマートフォンを操作することです。この行為は周辺への注意力が散漫になり、様々な事件・事故につながる恐れもあります。私もつい先日、実際に自転車を運転しながらスマホを操作している人と接触しかけました。その際に、ながらスマホ

に関する対策を調べ宝塚市にもそのような対策が必要ではないかと考え、今回提案することになりました。

では、ながらスマホを防止するにはどのような対策をとれば良いのでしょうか。私が提案



するのは「条例をつくる」というものです。現在、ながらスマホに関する条例は3つの市区町村が制定しており、その一つは我が宝塚市とも程近い池田市で制定されています。池田市の条例はながらスマホを定義した上で禁止事項を規定しており、画面の注視だけでなく、通話も禁止しています。池田市の他にも東京都の足立区と荒川区でも制定されているこのながらスマホに関する条例を参考にしつつ、宝塚市にもながらスマホに関する条例を制定してほしいと思います。警察庁によると運転中スマホを使用していた際の死亡事故の割合は使用していなかった時の約2.4倍にものぼります。このような事件・事故をなくす為にもご検討のほどよろしくお願い致します。以上で提案を終わります。ありがとうございました。

○小林友愛副議長

山崎市長。

○山崎市長（登壇）

北川議員のご質問にお答えします。

ながらスマホの防止につきましては、スマートフォンを操作しながらの自転車や自動車の運転については、道路交通法で禁止されています。運転手はその法令に従う義務があり、違反した場合は罰金などの罰則があります。

一方、スマートフォンを操作しながらの歩行、いわゆる「歩きスマホ」については、法令等で禁止や制限がされているものではありません。

しかしながら、北川議員のご指摘のとおり、歩きスマホは周囲の状況が把握できず、単独の転倒や他の歩行者や車両などとの衝突、接触など、事故や事件につながる恐れがあるにもかかわらず、多くの人が歩きながらスマートフォンを操作しているのが現状です。

本市としましては、現時点では、事例を挙げていただいた自治体のように、条例を制定し、歩きスマホを規制するまでは考えていませんが、歩きスマホが危険な行為であることを、市民の皆様に認識いただけるよう、啓発に取り組むべき社会問題であると考えています。

すでに、本市では、朝夕の通勤通学時に多くの人で混雑するJR宝塚駅と阪急宝塚駅を結ぶ連絡橋に、歩きスマホの危険性を認識していただくためのポスターを掲示し、注意喚起を図っています。今後さらに、交通安全教室や防犯講習会をはじめ、街頭での交通安全や防犯に係る啓発活動などあらゆる場面で、歩きスマホの危険性についても呼び掛けていきます。

なお、社会情勢なども見据え、安全・安心な歩行空間の確保のために必要が生じれば、条例化による歩きスマホの規制等についても検討したいと考えています。



○小林友愛副議長

山崎市長ありがとうございました。

これをもって、子ども議員からの発表と答弁はすべて終わりました。

本日の子ども議会の閉会にあたり、副議長としてあいさつをします。

今回、子ども議会に参加して良かったなと思ったことは、今日、参加しているみなさんのなやみや意見をきけたこと、自分の意見を言えたことです。これを機に宝塚市がよりよい街になるように、よろしくお願いします。

心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

これをもって第22回宝塚市子ども議会を閉会します。

<子ども議員・傍聴者の拍手>

<記念撮影>

— 閉 会 —

— 閉 会 午後3時30分 —



◇ 子ども議員委嘱状



2023年度

第22回宝塚市子ども議会委嘱状

宝子政第195－〇号

令和5年7月25日
(2023年)

宝塚市長 山崎 晴恵

宝塚 太郎 様

あなたを令和5年度(2023年度)
宝塚市子ども議会議員に委嘱します

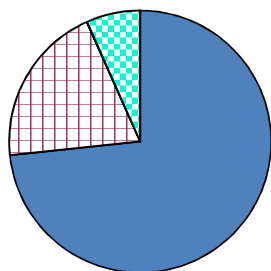
任期は発令の日から令和5年
(2023年)8月21日までとします



○第22回宝塚市子ども議会アンケート結果

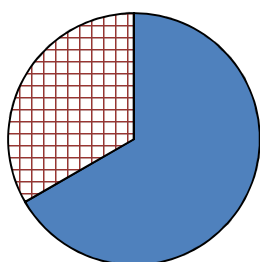
【子ども議員15人】

1、「子ども議員になった理由(経緯)」について(複数回答可)」



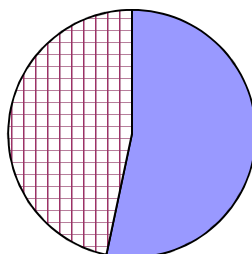
	今年度	昨年度
立候補または応募	73.33% (11件)	40%
先生にいわれて	20.00% (3件)	35%
友だちや家族に言われて	0% (0件)	20%
その他	6.67% (1件)	5%
回答なし	0% (0件)	0%

2、「事前学習会の浜田先生のワークショップでは、「おとなに聴いてもらえる権利」についてのお話などがありました」



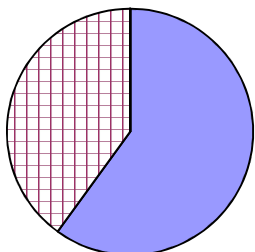
	今年度	昨年度
大変勉強になった	66.67% (10件)	62.5%
勉強になった	33.33% (5件)	37.5%
あまり勉強にならなかった	0% (0件)	0%
まったく勉強にならなかった	0% (0件)	0%
回答なし	0% (0件)	0%

3、「事前学習会では、自分の意見を」



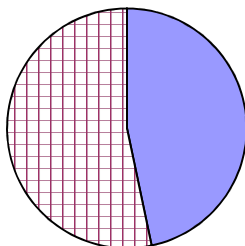
	今年度	昨年度
よく伝えられた	53.33% (8件)	56.25%
伝えられた	46.67% (7件)	37.50%
あまり伝えられなかった	0% (0件)	6.25%
まったく伝えられなかった	0% (0件)	0%
回答なし	0% (0件)	0%

4、「子ども議会を通して、自分たちの思いを市長や教育長などに」



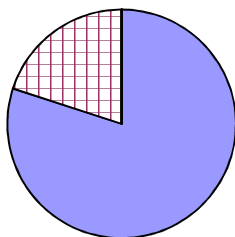
	今年度	昨年度
よく伝えられた	60% (9件)	75%
伝えられた	40% (6件)	25%
あまり伝えられなかった	0% (0件)	0%
まったく伝えられなかった	0% (0件)	0%
回答なし	0% (0件)	0%

5. 「自分たちの質問や提案に対する市長や教育長などの答えについて」



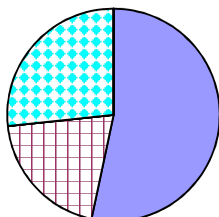
		今年度	昨年度
	よく理解できた	46.67% (7件)	62.5%
	理解できた	53.33% (8件)	37.5%
	あまり理解できなかった	0% (0件)	0%
	まったく理解できなかった	0% (0件)	0%
	回答なし	0% (0件)	0%

6. 「子ども議会を開く目的の一つは、自分の意見をおとなに聴いてもらう(子どもの意見表明)ことなのですが、『おとなに聴いてもらうこと(子どもの意見表明)』について」



		今年度	昨年度
	すごく大切だと思った	80% (12件)	56.25%
	大切だと思った	20% (3件)	43.75%
	あまり大切だと思わなかった	0% (0件)	0%
	大切だと思わなかった	0% (0件)	0%
	回答なし	0% (0件)	0%

7. 「もう一度この子ども議会に参加できるとしたら」



		今年度	昨年度
	ぜひ参加したい	53.33% (8件)	43.75%
	参加したい	20.00% (3件)	31.25%
	参加したくない	0% (0件)	6.25%
	わからない	26.67% (4件)	18.75%
	回答なし	0% (0件)	0.00%

8. 「子ども議会を終えてよかったところや悪かったところ、改善してほしいことなど自由に感想や意見を記入してください」

<子ども議会本番について>

- ・かんだ。
- ・きんちょうで、かみまくったから、次もしあったらやりたい。
- ・たくさん人の前で自分の意見が発表できるいい経験になりました。
- ・答弁に対して質問を重ねられるようにしてほしい。
- ・市長さんが1人1人意見を言うたびにうなずく所がとてもうれしく思った。また実際の大人と同じ扱い？で聞いてくれた所もすごいと思った。
- ・よかったところ→自分の意見を述べたところ、悪かったところ→なし
- ・ものすごく緊張しましたが、自分で考えたことをきちんと発表できたと思います。他の人の提案を聞いて「もっとこうすれば説得力が上がったな」「このような言い回しにしたならもっと思いが伝えられたかも」という新たな学びも得られました。
- ・早く読みすぎたり、言葉をかんでしまったりしたのが少し心残りでした。
- ・とても楽しくできて良かったです。市長さんの答えが分かりやすくて良かったです。
- ・すごくきんちょうしました。でもたくさん大人のの人に意見をきいてもらえて良かったです。
- ・とても大きな会場で議会ができたことはとてもいい経験になりました。自分の考えをはっきりと伝えることができました。
- ・市長が一人一人に自分の言葉でとうべんをしていたところが良かった。
- ・みんなのなやみや意見をきけて良かった。議場に行けたことがうれしかった。自分の意見を言えてよかった。
- ・みんなの前で、発表をするという力がついたと思う。

<事前学習会について>

- ・楽しかった。
- ・はまだ先生の話がおもしろかった。
- ・たのしかった。
- ・子どもの権利についてのお話や、質問内容を細かく伝えられる機会があることは大切だと思った。また、自分にとってとてもありがたかった。

- ・1人の子どもに対して大人が真剣に対策をねっている所がとても良い印象をうけた。
- ・よかったところ→周りの人とうちとけて気が楽になった、悪かったところ→なし
- ・よりよくしてほしいところ→全員と話す機会がほしいです
- ・子どもが意見を発表する権利があるということを改めて実感し、市の担当者の方にも思いが伝えられたと思います。
- ・グループで自分の意見を言いあったりするのがとても楽しかったです。
- ・おとなに聴いてもらえる権利の話がとてもためになりました。
- ・浜田先生の話を書いて、なっとくしました。
- ・権利のことや浜田先生の話聞いて、これから大切にしていきたいと思いました。
- ・自分たちには聴いてもらえる権利があると教えてもらったところがうれしかった。
- ・おとなにきいてもらえるけんりがあることを他の人にも伝えていきたいと思った。
- ・クラスみんなにも「おとなに聴いてもらえるけん利」をつたえたい。

9.市役所やおとなの人に子どもの意見を伝えるにはどのような機会があれば良いと思いますか。自由に意見を記入してください」

- ・それこそアプリを入れたらいいと思う。
- ・学校の授業ではなしあう。
- ・今日みたいなもの。
- ・各学校に目安箱みたいなものを設置する→市に対して、思ったことをすぐに、簡単に伝えられる
- ・簡単な感じになりますがwebや手紙などで気軽に意見をあつめられたらいいと思います。(もうある場合はすいません)
- ・HPからメールをおくる。SNSでのハッシュタグのつぶやきなど。
- ・アンケートなどを実施する。

◇ 子ども議会広報

広報たからづか 8月号

未来を担う子どもがまちづくりのアイデアを提案 子ども議会を開催

市内の子どもが議員となって、宝塚市のまちづくりについて考え、意見を発表することを通して、政治や行政に関心を持ってもらうとともに、市が広く子どもから意見を聴き市政に反映させるため、子ども議会を開催します。

市議会議場で、市内の小・中・高校に通う15人が意見や提案を発言し、市長や教育長が実際の議会と同様に答弁します。

日 8月21日(月)13時半～16時

子ども議会の様子は YouTube でライブ配信します。

※議場での関係者以外の一般傍聴はできません



▲ライブ配信

問 子ども政策課 (☎77・2419 FAX 77・2800)

集 合 写 真



(令和5年8月21日子ども議会終了後撮影)